

井手英策さんと考える 【脱「成長依存」の社会ビジョン】



講師

慶應義塾大学経済学部教授

井手 英策

Eisaku Ide

【ハイブリッド】

丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

< 将来への不安 > を < 明るい展望 > へと変えるために

この30年、日本経済はゆるやかな衰退を続け、国際社会における相対的地位は明らかに低下しました。一方、「多様性を尊重しよう」というかけ声と同時に、個人の自助努力や自己責任を求める声が強まり、社会の<共にある>という感覚は弱まりつつあります。閉塞感が広がるなか、追い討ちをかけるように<将来への不安>が私たちに襲います。人口減少、経済の長期停滞、急増する政府債務、教育や医療にかかる負担・・・改革の声はあちこちであがっていますが、これまでの仕組みを前提とした改革を繰り返してきた結果、とうとう<失われた30年>が現実のものとなってしまいました。成長に依存する経済を抜け出し、日本社会の閉塞感を払拭するために、どんな未来を構想すべきか。私たちはいま大きな問いに向き合っています。

本講座のテーマは、<将来への不安>を<明るい展望>へと変えていくために、社会をどう再構築するか、です。日本社会の問題点を細かく分析したうえで、歴史を紐解き、海外の事例に学びながら、あるべき日本社会の姿を参加者と一緒に考えていきます。

井手 英策

10・15 | 土
14:00-17:00

「失われた30年」は
なぜ起きたのか

1

日本経済衰退の理由

この30年で、何が失われたのか、なぜ失われたのか。さまざまなデータが示す日本社会の病理現象を読み解きます。

11・26 | 土
14:00-17:00

「縮減の世紀」の見取り図

4

21世紀はどこに向かうべきか

「将来への不安」を「明るい展望」へと変えていくために、社会をどう再構築していけばよいのか、進むべき方向を考えます。

10・29 | 土
14:00-17:00

なぜ生きづらいのか

2

勤労、儉約、自己責任の近代史

日本社会の閉塞状況を歴史的に紐解き、日本社会の特徴、日本人の価値観に見られる通俗道徳の観点から、生きづらさの理由を分析します。

12・10 | 土
14:00-17:00

分配革命

5

ベーシックサービスの衝撃

医療や教育といった基本サービスを安価に提供することを目指す「ベーシックサービス」を財源論とともに議論します。

11・12 | 土
14:00-17:00

スローファシズム

3

忍び寄る「自由の死」

報道・行政・学校等々、社会のあらゆる分野で、気づかないうちに、少しずつ自由度が失われていることを検証します。

1・14 | 土
14:00-17:00

身近革命

6

ソーシャルワークの理論と現実

サービスや現金の給付にとどまらず、他者との関わり合いの中で、幸せな暮らしを目指す「ソーシャルワーク」について知見を深めます。

開催概要

日程	2022年 10/15、10/29、11/12、11/26、12/10、2023年 1/14 (すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・現代日本が抱える問題(経済・財政・社会システム等)を多面的に考えたい方 ・「新自由主義的な経済政策」「財政出動による経済対策」のいずれにも疑問を感じている方 ・新たな社会のあり方をじっくりと考えてみたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

<なぜ>を問い、<深く>考える

多くの研究者が<危機>を訴えてきました。ですが、危機を煽りたてるだけで、現状を放置するのは、正しい知のありかたでしょうか？

いま必要なのは、なぜ経済が衰退したのか、どうして生きづらいのか、その背景や理由を解き明かしながら日本社会を<診断>することです。そのうえで、具体的な<処方箋>を参加者と議論していきます。みなさんには、日本社会を見るとき自分の価値観や見かたそのものを問い直してほしいと考えています。

講師プロフィール

井手 英策(いで えいさく)

1972年福岡県生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。日本銀行金融研究所に勤務。その後、東北学院大学、横浜国立大学などを経て、現職。専門は財政社会学、産業社会学。総務省、全国知事会、全国市長会、日本医師会、連合総研等の各種委員のほか、小田原市生活保護行政のあり方検討会座長、朝日新聞論壇委員、毎日新聞時論フォーラム委員なども歴任。2015年大佛次郎論壇賞、2016年慶應義塾賞受賞。

主な著書

『経済の時代の終焉』(岩波書店)

『分断社会を終わらせる——「だれもが受益者」という財政戦略』(筑摩書房)

『財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために』(岩波ジュニア新書)

『富山は日本のスウェーデン 変革する保守王国の謎を解く』(集英社新書)

『欲望の経済を終わらせる』(集英社インターナショナル)

『どうせ社会は変えられないなんてだれが言った?~ベーシックサービスという革命~』(小学館)

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【ハイブリッド】



丸の内キャンパスで

どちらも可能



自宅からオンラインで

ハイブリッド開催形態について

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への訪問歴がある方は来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

